

ハニトの〇〇な話

No.4



シャローム!! こんにちは。

寒くなってきましたね。みなさん暖かくして、楽しくお過ごしでしょうか？

この時期に特に心が温まる話が良いと思いましたので、今回は杉原千畝記念館を訪れた方の声をお聞かせしたいと思います。4月から来館者にアンケートをお願いして、それに出身地や年齢、自分の感想や意見を書いてもらっています。今回はそのみなさんの声から特別に良かった感想や意見を取り上げて、公開したいと思います。

「いかに平和が大切か、人と人との絆の大切さを発信し続けていきたいです。」(60代)

「いけないことはいけないという勇気を持つことの大切さを改めて痛感しました。」(50代)

「全国の小学校を管轄する教育委員会へ社会見学ルートとして採用するよう働きかけをされたらいかがでしょうか？」(50代)

「杉原さんは、とても素晴らしい人だと改めて思った。こういったことができる人間になりたいと思った。」(小中学生)

中学生の団体から「一番心に残ったのは『一人を救ったら世界を救ったのと同じだ。6,000人のユダヤ人を救った杉原さんは宇宙を救ったと言っても良いだろう。』という言葉です。私は杉原さんのように6,000人を救えないけれど、身近に困っている人がいたら素通りしないで自分で声をかけ助けようと思いました。」という感想をいただきました。

ホロコーストがあった事実はもう誰も変えることができません。ただ、そこから何を学べるか、二度と同じ過ちを繰り返さないようにどうするべきかなど、本館が考えるきっかけになれば何より幸いです。

国際交流協会コーナー

先月、イスラエルのツアーが来て、八百津町で一日を過ごしました。最初は八百津保育園で年長さんたちと楽しく交流。次に錦津公民館で習字体験。先生に筆の持ち方や基本線などを教えてもらい、色紙を完成させてお土産に持って帰りました。初体験だったイスラエルのみなさんは大喜びでした。紅葉を楽しみながら五宝滝で昼食を食べた後、記念館を訪れ、最後にあかね山荘で国際交流協会のメンバーたちと楽しく交流会をしました。

習字道具を寄付していただいた方、当日お手伝いしていただいたみなさんに感謝しています。みなさんのおかげで最高の八百津町滞在ができました。ありがとうございました。



基本線を書いて、お土産に持って帰った方もいましたよ。

ハニトさんへの質問は
hanito@town.yaotsu.lg.jp までどうぞ!

「多文化共生の取組～外国人の防災への活用性～ 防災ワークショップ」

可見市国際交流協会の主催で、「防災ワークショップ」を実施します。

八百津町に住んでいる外国人のみなさんぜひ参加してください！

.....
と き：平成26年1月26日(日曜日)
午後2時から
ところ：八百津町防災センター 2階
内 容：ゲームを楽しみながら、防災を学びます。
.....